



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月5日

上場会社名 ホシデン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6804 URL <https://www.hosiden.com/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古橋 健士
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 鶴 隆文 TEL 072-993-1010
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	71,230	39.4	6,744	129.5	11,040	260.1	7,423	234.4
2022年3月期第1四半期	51,101	0.8	2,938	84.9	3,066	113.4	2,219	99.3

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 8,171百万円 (165.9%) 2022年3月期第1四半期 3,072百万円 (160.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	135.09	124.88
2022年3月期第1四半期	39.32	36.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	173,428	124,682	71.9
2022年3月期	171,525	119,533	69.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 124,682百万円 2022年3月期 119,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	55.00	65.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	23.00	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	120,000	24.0	9,500	44.2	14,000	88.9	10,000	66.8	181.97
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

業績予想における為替レートにつきましては、1米ドル136円を前提としております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	64,710,084株	2022年3月期	64,710,084株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	9,755,084株	2022年3月期	9,755,041株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	54,955,029株	2022年3月期1Q	56,456,099株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現在入手可能な情報による当社の判断に基づく将来の予測であり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。さまざまな潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績はさまざまな重要な要素により、記載された見通しと大きく異なる可能性もあり、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。なお、業績予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月～2022年6月)の世界経済は、新型コロナウイルス感染症が一時より減少していることに伴い、景気回復は続いているものの、成長率は減少傾向にあります。ロシアによるウクライナ侵攻問題は解決の目途が立っておらず、資源や食糧の高騰が続いており、中国のゼロコロナ政策によるロックダウンは経済の足かせとなっております。また、海外と日本の金利政策の違いにより、為替相場は急激な円安となっております。日本では、輸入物価が上昇し、直近では新型コロナウイルス感染症が急拡大していることもあり、日本経済の先行きは不透明であります。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、自動車関連市場では、半導体不足や中国のロックダウンによるサプライチェーンの混乱は解消しておらず、本格的な回復はまだ先とみられています。移動体通信関連につきましても同様で、さらにインフレも相まって販売台数は伸び悩んでおります。

このような状況の下で、当社グループでは、自動車関連向け、移動体通信関連向けの売上は減少したものの、アミューズメント関連向けの売上が大きく伸長したことにより、全体では増加となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は71,230百万円(前年同期比39.4%増)、営業利益は売上が大幅に増加したことに加え、為替相場が円安に振れたことなどにより、6,744百万円(前年同期比129.5%増)、経常利益は為替相場変動に伴う為替差益(4,129百万円)を計上し、11,040百万円(前年同期比260.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,423百万円(前年同期比234.4%増)となりました。

報告セグメントの売上高及びセグメント利益は、次のとおりであります。

機構部品につきましては、アミューズメント関連向けが増加したことにより、売上高は64,200百万円(前年同期比48.8%増)、セグメント利益は6,370百万円(前年同期比222.9%増)となりました。

音響部品につきましては、AV機器関連向けが増加したことにより、売上高は3,948百万円(前年同期比21.4%増)となったものの、セグメント利益は279百万円(前年同期比10.4%減)となりました。

表示部品につきましては、自動車関連向けが減少したことにより、売上高は1,317百万円(前年同期比41.8%減)、セグメント損失は201百万円(前年実績は52百万円のセグメント利益)となりました。

複合部品その他につきましては、健康機器関連向けが減少したことにより、売上高は1,763百万円(前年同期比27.8%減)、セグメント利益は296百万円(前年同期比50.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、有価証券及び棚卸資産が減少したものの、現金及び預金及び売上債権の増加等により前連結会計年度末比1,902百万円増の173,428百万円となりました。また、負債につきましては、未払法人税等が増加したものの、仕入債務及びその他流動負債の減少等により前連結会計年度末比3,246百万円減の48,745百万円となりました。

なお、純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比5,149百万円増の124,682百万円となり、自己資本比率は71.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比4,012百万円減少の58,466百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、829百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益11,049百万円、売上債権の増加13,846百万円、棚卸資産の減少12,900百万円、仕入債務の減少7,086百万円、法人税等の支払2,808百万円によるものであります。

投資活動による資金の減少は、2,648百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,234百万円、有価証券の取得による支出999百万円によるものであります。

財務活動による資金の減少は、3,057百万円となりました。これは主に、配当金の支払3,022百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想は、2022年7月28日公表の「営業外収益（為替差益）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」より変更ありません。また、2023年3月期通期連結業績予想につきましては、2022年7月28日公表の「営業外収益（為替差益）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通り、一旦取り下げ、未定としております。算定可能となった時点で速やかに公表いたします。第2四半期の為替レートにつきましては、1米ドル136円を前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,794	50,447
受取手形、売掛金及び契約資産	25,864	41,576
有価証券	13,699	10,599
商品及び製品	9,923	9,490
仕掛品	3,117	3,696
原材料及び貯蔵品	38,526	26,997
その他	4,690	4,639
貸倒引当金	△45	△50
流動資産合計	145,572	147,396
固定資産		
有形固定資産	18,559	18,970
無形固定資産	451	456
投資その他の資産		
投資有価証券	4,809	4,536
その他	2,423	2,358
貸倒引当金	△290	△290
投資その他の資産合計	6,942	6,604
固定資産合計	25,952	26,031
資産合計	171,525	173,428

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,614	19,916
短期借入金	2,040	2,101
未払法人税等	3,179	4,006
その他	7,470	7,041
流動負債合計	36,305	33,066
固定負債		
新株予約権付社債	10,051	10,046
退職給付に係る負債	3,577	3,567
その他	2,057	2,065
固定負債合計	15,686	15,679
負債合計	51,991	48,745
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,660	13,660
資本剰余金	19,596	19,596
利益剰余金	94,320	98,721
自己株式	△9,586	△9,586
株主資本合計	117,990	122,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,495	2,304
為替換算調整勘定	△1,334	△361
退職給付に係る調整累計額	381	346
その他の包括利益累計額合計	1,542	2,290
純資産合計	119,533	124,682
負債純資産合計	171,525	173,428

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	51,101	71,230
売上原価	45,626	62,018
売上総利益	5,474	9,212
販売費及び一般管理費	2,536	2,467
営業利益	2,938	6,744
営業外収益		
受取利息	17	39
受取配当金	56	63
為替差益	20	4,129
雇用調整助成金	32	56
その他	13	19
営業外収益合計	140	4,308
営業外費用		
支払利息	7	5
シンジケートローン手数料	4	4
その他	1	2
営業外費用合計	12	12
経常利益	3,066	11,040
特別利益		
固定資産売却益	0	10
投資有価証券売却益	106	—
特別利益合計	107	10
特別損失		
固定資産除売却損	7	1
特別損失合計	7	1
税金等調整前四半期純利益	3,166	11,049
法人税、住民税及び事業税	735	3,413
法人税等調整額	211	211
法人税等合計	946	3,625
四半期純利益	2,219	7,423
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,219	7,423

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	2,219	7,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	△190
為替換算調整勘定	933	973
退職給付に係る調整額	△34	△34
その他の包括利益合計	852	747
四半期包括利益	3,072	8,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,072	8,171
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,166	11,049
減価償却費	679	780
売上債権の増減額 (△は増加)	517	△13,846
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△10,005	12,900
営業未収入金の増減額 (△は増加)	△253	154
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,375	△7,086
その他	2,206	△447
小計	△5,063	3,503
利息及び配当金の受取額	69	87
利息の支払額	△5	△9
雇用調整助成金の受取額	32	56
法人税等の支払額	△2,030	△2,808
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,996	829
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	—	△514
有価証券の取得による支出	—	△999
有形固定資産の取得による支出	△736	△1,234
投資有価証券の売却による収入	131	—
その他	68	101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△535	△2,648
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△846	△3,022
その他	△23	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	△868	△3,057
現金及び現金同等物に係る換算差額	308	863
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△8,092	△4,012
現金及び現金同等物の期首残高	69,522	62,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	61,430	58,466

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機構部品	音響部品	表示部品	複合部品 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	43,143	3,251	2,264	2,442	51,101	—	51,101
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	43,143	3,251	2,264	2,442	51,101	—	51,101
セグメント利益	1,973	311	52	601	2,938	—	2,938

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機構部品	音響部品	表示部品	複合部品 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	64,200	3,948	1,317	1,763	71,230	—	71,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	64,200	3,948	1,317	1,763	71,230	—	71,230
セグメント利益又は損失 (△)	6,370	279	△201	296	6,744	—	6,744

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。